

解散・総選挙で安倍政権を倒し、日本政治の新しい幕開けを！

あなたの日本共産党への 入党を心からよびかけます

志位和夫委員長(中央右)と小池晃書記局長(同左)を囲む
都議選の当選者(7月3日)(写真提供「しんぶん赤旗」)



都民要求実現、野党共闘のいっそうの発展と総選挙勝利へ全力！

日本共産党の名前には、
国民の幸せのために一貫してたたかってきた歴史と
未来社会の理想がこめられています

日本共産党という名前は、「みんなが平等で自由に生きることが
できる共同の社会をめざす」という目標をあらわしています。語源は、
「コミュニティ」と同じです。

私たちの先輩たちは戦前、この精神で、あの侵略戦争に反対し、平
和と民主主義をかけた、国民主権の日本を築くために、命がけでた
たかいました。

日本共産党の名前には、こうした不屈の歴史とともに、未来社会の
理想がこめられています。私たちは、この名前を誇りにしています。

希望ある未来を拓くために
一緒にがんばりましょう

日本共産党東京都委員会

発行/日本共産党東京都委員会 【部内資料】
〒170-0004 豊島区北犬塚1-33-26 03-5972-1621(代表)

日本共産党員としての活動は

18歳以上の日本国民で、日本共産党の綱領と
規約を認める人は、党員になれます。

日本共産党は、日本の社会を「真に平等で自
由な人間関係からなる共同社会」に発展させるこ
とをめざしています。

日本共産党の綱領は、日本と世界の歴史と現
実をふまえ、この社会がどんな発展段階をへて、
また、どんな道すじにそって前進するのか、日本
共産党は、未来社会への道をどのように切りひら
いてゆくのか、それを明らかにしたものです。

党の規約は、日本共産党の活動をすすめてゆく
ための党の自主的ルールです。一般の団体でいえば
「会則」にあたるものです。

私たちは、社会の進歩をめざすものとして、日
常生活のうえでも、まわりの人たちから人間的に
も信頼される人間でありたいと心がけています。

一人ひとりの党員は、それぞれの条件と得手を
最大限に生かし、協力しあって活動します。

入党のお申し込みは

入党申込書に必要な事項を記入し、お知らせの党員
2人の推薦をうけ、入党費300円をそえて申し込みます。

四つの大切

「四つの大切」は、日本共産党員みんながとりくむ活動です

●「しんぶん赤旗」(日刊紙)を読みます

日本の巨大マスメディアは、「権力の監視」「真実を伝える」という
「社会の公器」としての本来の役割を果たしきれていません。そのな
かで、「しんぶん赤旗」は、真実を伝え、希望を運び、国民のたたかいの
よりどころとして、かけがえのない役割を果たしています。

とくに、「しんぶん赤旗」日刊紙を読むことは、党員が希望をもつ
て暮らし、確信と展望をもって活動するみなものです。

●支部会議に参加します

支部会議は、まわりの人びとの利益のためにどんな活動をしてゆ
くのか、どんな党をつくるのか、目標や方針をみんなで相談し、決め
る場です。同時に、支部会議は、党員同志のあたたかい人間的信頼関
係を築き、励ましあい、成長してゆく大切な場です。

●学習につとめ活動に参加します

一人ひとりの党員が、どんな情勢のもとでも、未来への科学的確信
と展望をもって、活動し、成長していくうえで、党綱領や科学的社会
主義の学習はかせません。また、党大会決定や中央委員会総会決
定の学習にも最優先でとりくみます。

●党費(実収入の1パーセント)をきちんと納めます

日本共産党は、政党助成金や企業・団体献金を受け取っていま
せん。党の財政は、一人ひとりの党員が納める党費や「しんぶん赤旗」
の購読料などで支えられています。入党した月から党費を納めるこ
とは、日本共産党を財政的に支える誇りある活動です。

都議選躍進——次は総選挙勝利へ！ 歴史的な大激動の情勢のもとで、ごいっしょに新しい時代を前にすすめましょう

あなたの日本共産党への入党を心からよびかけます

7月2日投開票の東京都議会議員選挙で、日本共産党は、大激戦のなか、2議席増の19議席に躍進し、「現有17議席を確保し、新たな議席を獲得する」という目標を実現できました。得票も得票率ともに前進を勝ち取りました。わが党の前進のために、昼夜をわかつた奮闘いただいたみなさんに心からお礼申し上げます。



今回の都議選では自民党が歴史的な大敗を喫し、首都・東京から、安倍政権に「レッドカード」をはっきり突きつけるものになりました。次は、総選挙です。私たちは、連続躍進した力で、都政改革と公約

実現のたたかいに全力をあげるとともに、首都・東京の野党共闘をさらに発展させ、来たる総選挙での勝利めざし、全力をつくす決意です。あなたもぜひ、日本共産党に入党し、安倍政権をたおし、憲法の民主主義、平和主義、立憲主義が生きる新しい日本をつくるために、ご一緒に力をあわせようではありませんか。

——安倍政権打倒、野党連合政権への扉を開く強く大きな党をいまこそ

「森友」「加計」疑惑に象徴される国政私物化、情報の隠ぺい、閣僚や側近の暴言・不祥事の数々にくわえ、秘密保護法(2013年)、安保法制Ⅱ戦争法(2015年)の強行につづき、「共謀罪」法を国会ルールも踏みにじって強行し、さらに国民が望んでもいない9条改憲へ前のめりになる…。おごり高ぶる安倍政権への積もり積もった国民の怒りと不信が爆発的にしめされたのが都議選の結果でした。

しかし、安倍首相も自民党も、都民の審判にまったく無反省な態度を続けています。安倍首相は、9条に自衛隊を書き込む自民党の改憲草案を秋の臨時国会に提出しようとならっています。無制限に海外で戦争できるようになる9条改憲を絶対に許すわけにはいきません。

選挙戦のなかでは、「国保料(税)が高くて払えない」「認可保育所に入りたい」「特養ホームを増やして」「返済不要の奨学金を」など、都民の切実な願いがあふれるように寄せられました。1メートル1億円もする外かく環状道路建設など、税金がゼネコン・大企業のもうけのために使われる一方で、都民のくらしは悲鳴があがっています。大企業のもうけは「史上最高水準」になっても、そのもうけは庶民に還元されません。都政でも国政でも税金の使い方、集め方を抜本的に見直すときです。

自民党が都議選で6割の議席を失い、史上最低の23議席となったことは、安倍内閣の「高支持率」の内実がきわめてもろいものであったことを証明するものであり、自民党政治を終わらせる国民的条件が熟しつつあることをしめています。日本共産党は、1月に開いた第27回党大会で、野党と市民の共闘をさらに発展させ、安倍政権を打倒し、野党連合政権を実現することを焦眉の課題として呼びかけました。いま野党と市民の共闘をさらに大きく広げ、明確な対抗軸を持った政治の受け皿として、その姿を国民の前にしめすことが緊急の課題となっています。野党共闘のカナメである日本共産党がいまこそ強く大きくなることが求められています。

——日本も世界も歴史的な大激動の時代、歴史を前にすすめる開拓者としてご一緒に歩みましょう

7月7日、核兵器禁止条約が国連加盟国の63%、122カ国の賛成で採択されました。核兵器を「違法化」する初めての条約です。日本共産党の志位委員長は、3月に続き、市民社会の代表として国連会議に参加し、条約採択の歴史的瞬間に立ち会いました。いま世界は「核兵器のない世界」をめざし、新たなスタートをきりました。唯一の戦争被爆国でありながら、この条約に背をむけた日本政府の姿勢が厳しく問われます。

日本共産党の綱領は、国民の苦しみのおもとにある「アメリカいなり」「財界・大企業中心」という自民党政治の「2つの異常」をただす民主的改革的展望と、社会発展のあらゆる段階で、共同の力Ⅱ統一戦線で政治を変えよう、という大方針をしめています。いま、この綱領の生命力が輝いています。

日本共産党は、この7月、党創立95周年を迎えます。反戦平和と「国民が主人公」の政治をめざしてたたかいぬいてきた95年の歴史のうえに、いま野党と市民の共闘によって政治を動かすという、「日本の政治の新しい時代」を切りひらきました。草の根で国民と結びつき、はたらきかける日本共産党が強く大きくなることこそ、日本の政治の新しい時代を前にすすめる決定的な力になります。

日本も世界も歴史的な大激動の時代、「政治を変えたい」「平和の憲法を子どもたちに手渡したい」というあなたの思いと社会進歩を重ねて、新しい日本の政治をさらに前にすすめるために、ご一緒に力をあわせましょう。